

2022年5月9日
日本銀行佐賀事務所
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Saga Office / Fukuoka Branch

佐賀県の金融経済概況

(2022年春)

当資料は当事務所ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/saga/>
<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行佐賀事務所 Tel : 0952-23-8165

1. 総論

- 佐賀県の景気は、感染症の影響による下押し圧力が幾分和らぐもとで、持ち直し基調にある。

最終需要の動向をみると、個人消費は、感染症の影響による下押し圧力が幾分和らぐもとで、緩やかに持ち直している。住宅投資は、持ち直している。設備投資は、増加している。公共投資は、高水準で推移している。

こうした中で、生産は、持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給は緩やかに持ち直している。雇用者所得は弱めの動きがみられている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や供給面の制約、原材料価格等の上昇が、当地の経済金融情勢に与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回(2022年冬)	今回(2022年春)
景気全体		感染症拡大の影響が一部にみられるものの、持ち直し基調にある。	感染症の影響による下押し圧力が幾分和らぐもとで、持ち直し基調にある。
需要項目	個人消費	感染症拡大の影響が一部にみられるものの、緩やかに持ち直している。	感染症の影響による下押し圧力が幾分和らぐもとで、緩やかに持ち直している。
	住宅投資	持ち直している。	持ち直している。
	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	設備投資	高水準で推移している。	増加している。
生産		持ち直している。	持ち直している。
雇用・所得		労働需給は緩やかに持ち直している。雇用者所得は弱めの動きがみられている。	労働需給は緩やかに持ち直している。雇用者所得は弱めの動きがみられている。

2. 個人消費

- 個人消費は、感染症の影響による下押し圧力が幾分和らぐもとで、緩やかに持ち直している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店・スーパー売上高	底堅く推移している。
	コンビニエンスストア売上高	緩やかに持ち直している。
耐久消費財	家電販売	増勢が鈍化している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	供給制約の影響から、低めの水準となっている。
サービス	旅行・観光	持ち直しつつある。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、持ち直している。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。

2022年1～3月の公共工事請負金額は前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、増加している。

法人企業景気予測調査（2022年1～3月期調査）における2021年度の設備投資は、前年度を若干下回る見込みとなっている。2022年度は、前年度を上回る計画となっている。

6. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、持ち直している。

▽主要業種の生産動向

食 料 品	弱含んで推移している。
化 学	持ち直している。
電 気 機 械	持ち直している。
電子部品・デバイス	高水準で推移している。

7. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給は緩やかに持ち直している。雇用者所得は弱めの動きがみられている。

有効求人倍率は、緩やかに上昇している（3月：1.34倍）。2月の雇用者所得総額¹は、現金給与総額の増加を主因に前年を上回った（2月：+1.1%）。

8. 物価

- 3月の消費者物価（佐賀市、生鮮食品を除く総合）は、前年並みとなった（3月：0.0%）。

9. 金融²

- 3月の預金残高をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った（3月：+4.0%）。
- 3月の貸出残高をみると、前年を上回った（3月：+1.4%）。

以 上

1 雇用者所得総額は、「常用労働者数×一人当たり現金給与総額（名目）<ともに事業所規模5人以上>」で算出。

2 預金・貸出残高の前年比は、国内銀行（ゆうちょ銀行等を除く）の佐賀県内にある店舗の残高合計から算出。残高合計については、日本銀行福岡支店 HP「長期時系列一覧」参照。